

東京における都市計画道路の整備方針
(第四次事業化計画)

平成28年3月

東京都・特別区・26市・2町

はじめに

都市計画道路は、多様な機能を有する都市を形成する最も基本的なインフラであり、成熟した首都東京の魅力づくりと国際競争力の強化、また防災性の向上の観点から、極めて重要な基盤施設です。しかし、東京の都市計画道路の完成率は6割程度で、各所で慢性的な交通渋滞など、様々な課題が生じています。

これまでも都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、東京都と特別区及び26市2町は共に連携しながらおおむね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を過去3回にわたり策定し、事業の推進に努めてきました。

現行の「区部における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」（平成16年度から27年度まで）及び「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」（平成18年度から27年度まで）の策定以降、東日本大震災の発生など、首都東京を取り巻く環境や社会経済情勢が大きく変化しています。また、区部、多摩地域ともに第三次事業化計画の目標年次を平成27年度としており、より効率的な道路整備とするため、第四次事業化計画では、区部と多摩地域を統合した東京全体の事業化計画を策定することとしました。

平成27年5月には「中間のまとめ」を、平成27年12月には「東京における都市計画道路の整備方針（案）」を公表し、皆様から御意見を頂きました。

その後、皆様からの御意見を参考に、東京都と特別区及び26市2町が連携・協働で検討を進め、このたび「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を策定しました。

今後、この整備方針に基づき、都市計画道路の整備を着実に進め、計画的かつ効率的に道路ネットワークを形成し、ゆとりある生活と経済活力が両立した都市の実現を目指していきます。

東京における都市計画道路の整備方針 目次

第1章 東京の新しい道路づくりに向けて

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 01 | 東京の道路整備を取り巻く社会状況 | 1 |
| 02 | 都市計画道路の現状 | 5 |
| 03 | 東京が目指すべき将来像 | 14 |
| 04 | 道路整備の「基本理念」 | 17 |
| 05 | 道路整備の「基本目標」 | 18 |
| 06 | 東京における都市計画道路の整備方針について | 19 |

第2章 将来都市計画道路ネットワークの検証

| | | |
|----|------------------------------|----|
| 01 | 将来都市計画道路ネットワークの検証の考え方 | 20 |
| 02 | 将来都市計画道路ネットワークの検証項目 | 22 |
| 03 | 将来都市計画道路ネットワークの検証結果（見直し候補路線） | 36 |
| 04 | 計画内容再検討路線 | 40 |
| 05 | 新たな都市計画道路の検討 | 50 |

第3章 第四次事業化計画（優先整備路線の選定）

| | | |
|----|---------------|----|
| 01 | 優先整備路線の選定の考え方 | 56 |
| 02 | 優先整備路線の選定項目 | 57 |
| 03 | 優先整備路線 | 63 |
| 04 | 整備効果 | 78 |

第4章 建築制限の緩和

| | | |
|----|-------------|----|
| 01 | 建築制限緩和の検討経緯 | 95 |
| 02 | 新たな建築制限緩和策 | 97 |

第5章 今後の都市計画道路整備に向けた取組

| | | |
|----|---------------|-----|
| 01 | 今後の都市計画道路の在り方 | 100 |
|----|---------------|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 参考資料 | | 105 |
|------|--|-----|

